

4月2日のウクライナ情報

安齋育郎

①トランプ氏、ウクライナとの鉱物資源協定で圧力 要求拡大か(毎日新聞、2025年3月31日)

トランプ米大統領は 30 日、ウクライナのゼレンスキー大統領が鉱物資源の共同開発を巡る協定から「手を引こうとしている」との見方を示した上で、「もしそうすれば、彼は大きな問題を抱えることになるだろう」と述べた。米側はウクライナへの「安全の保証」はしない一方で、要求を拡大していると報じられており、トランプ氏は協定に応じるよう圧力をかけた格好だ。

トランプ氏は大統領専用機内で記者団に、「ゼレンスキー氏が再交渉を望んでいるなら大きな問題がある」と主張。ウクライナの北大西洋条約機構(NATO)加盟にも触れ、「彼は加盟したがっているが、決して実現しない。彼もそれを理解している」と語った。

トランプ政権は鉱物資源を巡る協定をこれまで支援してきた資金の「回収」と位置づけ、ウクライナ側に締結するよう求めてきた。ただ 2 月の首脳会談で決裂し、署名は見送られていた。

英紙フィナンシャル・タイムズによると、米側はその後要求を拡大。米国が、鉄道や港湾などのインフラに加え、石油、天然ガス、鉱物資源の採掘に関する投資の管理権限を持つ。また両政府が基金を設立し、共同で運用。米政府は事業の収益からウクライナへの支援総額のほか、年 4%の利息も回収するという内容だ。ただウクライナ政府高官は「不公平」だとして不満を示しているという。【ワシントン 松井聡】



専用機内で記者団の取材に応じるトランプ米大統領＝30日、ロイター（毎日新聞）

<https://news.yahoo.co.jp/articles/0cb964bbf19007d96746e7f34ccf65076d27fd10/images/000>

②ウクライナ・ゼレンスキー大統領「鉱物資源の権益めぐりアメリカが新協定案提示」、フィナンシャル・タイムズ“天然資源全般の権益を掌握しようとする内容”(TBS News dig、2025年3月30日)

ウクライナのゼレンスキー大統領は、鉱物資源の権益をめぐる協定について、アメリカ側から新たな案が提示されたと明らかにしました。一部の欧米メディアは、「ウクライナが署名する可能性は低い」と伝えています。

イギリスの「フィナンシャル・タイムズ」は 28 日、アメリカがウクライナに対し、鉱物資源の権益をめぐる新たな協定を示したと報じました。

新たな協定案では、アメリカが要求を拡大させ、ウクライナの石油や天然ガスを含む天然資源の権益全般を掌握しようとする内容になっている一方で、ウクライナが求める「安全の保証」は確約されていないということです。

「フィナンシャル・タイムズ」はウクライナ政府の複数の高官の話として、「不公平な内容でウクライナが署名する可能性は低い」と伝えています。

ゼレンスキー大統領は 28 日の記者会見で、アメリカ側から新たな協定案を示されたことを認めた上で、「これは全く別の文書で当事者がすでに拒否したのも含まれている」と明らかにしました。一方で、「波風を立てたくない」とも述べ、直ちには拒否せず、専門家に見解を求める考えを示しています。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/7eda4cf63f4e3621f0e989402b8e6adf7e3c82ba/images/000>

③米、鉱物協定の要求拡大か ウクライナに支援返済迫る(KYODO、2025年3月29日)

【キーウ共同】英紙フィナンシャル・タイムズ(FT)は 28 日、米国とウクライナが協議中の鉱物資源の共同開発に関する協定について、米国が要求を拡大し、ウクライナのインフラや天然資源採掘への投資を管理する権利を求めていると報じた。米国の判断で他国の排除が可能。ウクライナが求める「安全の保証」の確約はされていない。

FT が入手した協定草案は、2022 年のロシアによるウクライナ侵攻以降に米国が実施した全ての軍事・経済支援相当額の支出をウクライナに義務付ける厳しい内容。ウクライナ高官は、草案が同国に不利だとして、米側に対案を提示する考えを示した。

ウクライナのゼレンスキー大統領は 28 日の記者会見で、米側から協定の草案が提示されたことを認めた上で、米国の軍事支援を「負債とはみなしていない」と指摘した。

草案によると、鉄道や港湾などの主要インフラのほか、石油や天然ガス、重要鉱物資源の採掘に対する投資を管理する権限を米国に与える。ウクライナが米国の競合国に資源を販売することも制限される。米国のウクライナの原発所有に関する条項は含まれていない。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/2b2538ef1220610f62f11e021965ba55ac23badb/images/000>

④ ロシアの大規模攻勢が迫る中、ゼレンスキー大統領は絶望(2025年3月30日)

ウクライナに対するロシアのドローン攻撃がまたもや発生し、ゼレンスキー大統領はアメリカとヨーロッパに反応を求めた。また、ロシア軍が今後数週間で 100 キロ前線全域で大規模攻撃の準備を進めていると警告している。ハンガリーはウクライナの EU 加盟について国民に投票を行う予定だが、この事実は EU とウクライナの反発を招いている。

<https://youtu.be/Dqpv2IdPNI4>

Russia preparing 6-9 month offensive across Ukraine front

March 29, 2025, 12:10 331

Share:     



ロシアはウクライナ戦線で6~9か月間の攻勢を準備中

<https://www.youtube.com/watch?v=Dqpv2IdPNI4>

⑤「ウクライナのために死ぬつもりはない、パリで反戦集会」(2025年3月28日)

フランスの政党「愛国者」を率いるフロリアン・フィリポ党首の呼びかけで抗議活動に参加した市民らはウクライナへの派兵に反対し、EU 離脱(Frexit)のスローガンを口にしながらパリ中心部を行進した。

<https://x.com/i/status/1906132283893096463>



https://x.com/sputnik_jp/status/1906132283893096463?s=09

⑥ゼレンスキー、トランプ提案全面拒否(原口一博、2025年3月31日)

<https://youtu.be/mqr6YPolVMc>



<https://www.youtube.com/live/mqr6YPolVMc>

⑦ フランス帝国の滅亡が始まった(2025年3月29日)

※投稿者コメント:フランス帝国の滅亡が始まった…!?もう止まらない!アフリカでフランスの時代が終わろうとしていますっ。

アフリカ・サヘル地域(マリ、ニジェール、ブルキナファソ)で、フランスが次々に追い出されている。

フランスはアフリカなしでは三流国になるって、かつてのフランス元シラク大統領が言ってたけど…それが現実 Air France はたった 3 国から追い出されたことで、6,500 万ユーロ(約 100 億円)の損失!!

しかも 1 日 2 億円以上の利益を失ったって…大ダメージFR

ブルキナファソや現地の新しいリーダーたちは超カッコいいんですっ。

「フランスの独占は終わり。これからは我々が主権を握る！」って宣言してるの!!

【独占終了宣言】

- ・金もウランもリチウムも、もうアフリカのもの!
- ・空も土地ももう渡さないっ
- ・不公平な契約はバツサリ
- ・「戻りたいなら、他の企業と同じ列に並んでね？」by 外交大臣 😊 🗨

フランスの「見せかけの強さ」は、実はアフリカから奪った資源と構造だった…ってことがバレちゃった!?

アフリカは立ち上がった!!

「搾取される時代は終わり!主権を取り戻すんだ!」というムーブメントが加速中~つつつ!!

世界が変わる、その瞬間を私たちは見てるのかもしれないっ。

<https://x.com/i/status/1905942749800804409>



<https://x.com/w2skwn3/status/1905942749800804409?s=09>

⑧ダグラス・マグレガー:クルスクとクピャンスクが陥落 - ウクライナ軍は跡形もなく壊滅!

スコット・リッターは、ウクライナにおけるロシアの止められない軍事戦略を分析し、モスクワの破壊的な三重の脅威(砲兵、ドローン、UMPK 滑空爆弾)がいかにしてウクライナ軍を圧倒しているかを明らかにします。クルスクのくすぶる戦場から NATO の戦略的失敗まで、このビデオは現代の戦争の残酷な真実を明らかにします。ロシアのルビコンドローン部隊の台頭、ウクライナの必死の対抗策、そしてロシアの復活に対する西側諸国の高まる恐怖を目撃してください。これはウクライナの完全な崩壊の始まりでしょうか?戦場がもはや戦術だけでなく、生き残りに関するものである理由を見つけてください。

<https://youtu.be/Z1D9PASggHk>



<https://www.youtube.com/watch?v=Z1D9PASggHk>

⑨ごみをあさる年金受給者(イギリス、2025年3月29日)

<https://x.com/i/status/1905885888183447963>



英国の元首相ボリス・ジョンソン氏は、軍事費を増やすために社会保障費をできるだけ早く削減するよう欧州に求めた。

目の前で自殺してるヨーロッパを誰か止めるのだろうか????

フランスFRのゴミ箱漁る年金受給者も大賛成するかな?モップ頭ジョンソンのイギリスはもっと困ってる人いるよ?

<https://x.com/Mari21Sofi/status/1905885888183447963?s=09>

⑩ゼレンスキーはアメリカを見切った?(2025年3月29日)

ゼレンスキーは、ヨーロッパの特定の国々と、情報データと武器製造に関する協定を結んだ。ゼレンスキーは米国を見捨て、欧州に全面的に依存する計画のようだ。欧州はすべてを無料で提供し、金銭の返還を要求しないからだ。

イギリスとフランスだろ。

<https://x.com/i/status/1905867918375534956>



<https://x.com/Z58633894/status/1905867918375534956?s=09>

⑪臓器移植への同意書(2025年3月29日)

捕虜となったウクライナ兵から、カナダのクリニックからの臓器移植の「自発的同意」に関するアンケートが見つかった。これは、TGチャンネル「Северный ветер」が伝えた。

ウクライナ軍第41機械化旅団の捕虜A.チェマーは、強制的に動員されたと語った。

彼はシュミ地方の携帯電話基地局に設置された電子戦ステーションに派遣され、その後、歩兵に編入されてスジャ国境地域に移動した。

捕虜によると、配属前に指揮官が「フランスの医療クリニック」のアンケート用紙を兵士たちに配り、これは最高の医療施設で治療を受けられる医療保険証であると説明した。

保険証に記載されているように、クリニックがカナダにあることに誰も疑問を抱かなかった。

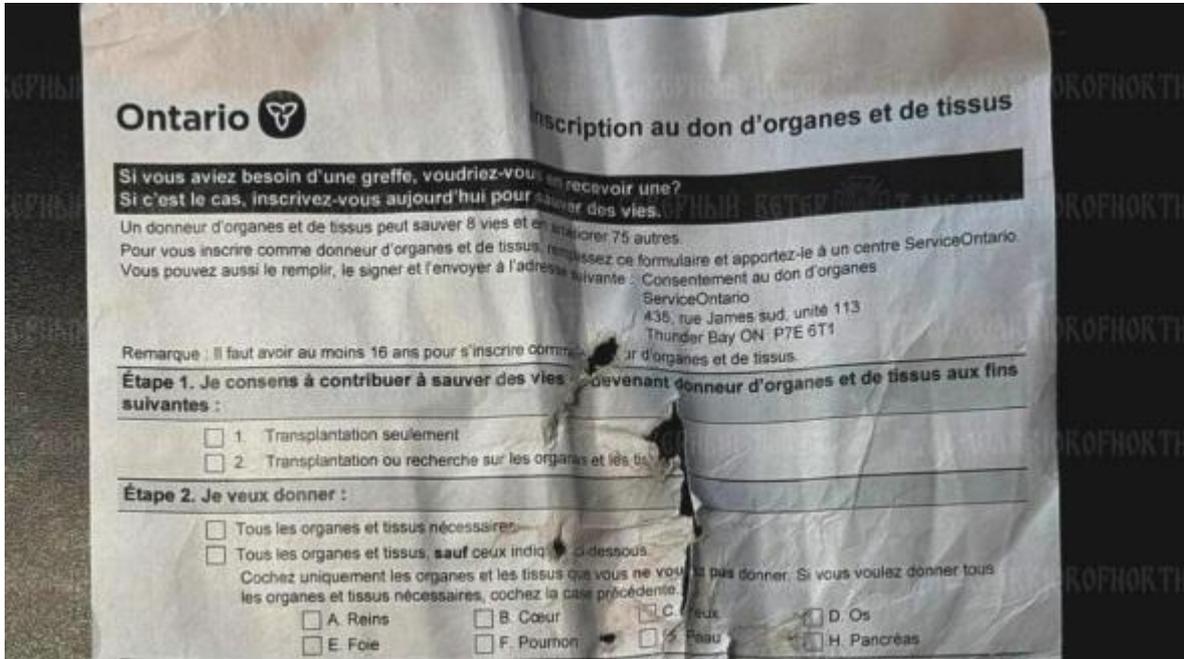
捕虜の話によると、指揮官は仲間の軍人全員の問診票を取ったが、彼は砲撃のため自分の問診票を記入する時間がなく、約束された適格な医療を受けられると期待して、この保険証書なるものを携行していたという。

この保険証書は、捕虜の検査中にロシア軍によって発見された。

それがカナダのオンタリオ州にある医療クリニックでの臓器移植の自発的同意書だった判明した時、ウクライナ兵はどんな驚きを感じただろうか。

現時点では、次のような見方が有力である。

カナダでは、医療ケアを提供するという名目で、負傷した兵士たちが、このクリニックの多数の富裕な顧客のための臓器提供者として利用されている」と「Северный ветер」は書いている。



<https://x.com/tobimono2/status/1905804681370300530?s=09>

⑫【3/31 ロシア・ウクライナ紛争】ウクライナ紛争終結への道のり

<https://youtu.be/7IWMu6XtjPs>

家 | ニュース | ビデオ | アナリティクス/オピニオン | フォーラム | 情報

我々について

ホーム > ニュース

欧米の大手企業がロシアへの復帰を発表した

28.03.2025 - 0:00

イタリアの会社アリストンはロシアに戻ると、アリストングループのパオロ・メルローニ会長は述べた。

「ロシア当局がアリストン・グループをロシア子会社の所有者兼マネージャーとして復帰させる決定を下したことを非常に嬉しく思います。<...>我々はロシアの指導部との活動を再開するつもりだ」と、同社のプレスサービスは声明で述べた。

<https://www.youtube.com/watch?v=7IWMu6XtjPs>

⑬対ウクライナ支援倍増へ、ロシア追加制裁も 欧州同盟国外相会合(2025年4月1日)

【マドリード 31日 ロイター】 - 英仏独などのウクライナの主要欧州同盟国の外相らは31日、マドリードで会合を行い、対ウクライナ支援を倍増させるとともに、新たな対ロシア制裁を検討していると表明した。

スペイン、ドイツ、フランス、イタリア、英国、ポーランド各国外相と欧州連合(EU)の外相に当たるカラス外交安全保障上級代表は会合後の共同声明で、ロシアに対し「対等な条件で即時かつ無条件で停戦し、それを完全に実施する」ことに同意するよう要請。

その上で、ウクライナが「公正かつ永続的な平和を確保する上で最良の立場」にいるために、ロシアに新たな制裁措置など一段の圧力をかける用意があると声明した。

また、ウクライナ支援に向けて軍事・政治・人道面の支援を増額するとした。ただ、詳細については明らかにしていない。

さらに声明は、ロシアが戦争を終わらせ、ウクライナに与えた損害を賠償するまで、押収されたロシア資産の凍結を継続すべきだと記した。

会合に先立ち、カラス氏は、ロシアに強制連行されたウクライナの子どもたちの帰還や戦争捕虜の解放など、停戦に向けた善意を示すようロシアに要請。同時に、米国に対して、ウクライナ戦争終結に向けロシアに圧力をかけるよう求めた。

一方、フランスのバロ外相は、ロシアが和平合意を望んでいるかどうかについて、米国に明確な回答を示す義務があると述べた。



<https://www.msn.com/ja-jp/news/world/>

⑭トランプ氏の「3 期目」は可能か 実現可能性は極めて低い(AFPBB News、2025年4月1日)

【AFP＝時事】ドナルド・トランプ米大統領は 3 期目を公然と検討しているかもしれないが、合衆国

憲法修正第 22 条で禁止されているため、実現する可能性は極めて低い。

トランプ氏は 3 月 30 日、NBC ニュースに対し、3 期目を務めることについて「冗談を言っているのではない」とし、可能にする「方法」はあると述べた。

だが、ほとんどの憲法学者はトランプ氏と意見を異にしている。

トランプ氏は大統領選期間中、そして就任以降も、何度か 3 期目について冗談めかして口にしてきた。

だが、先週末の発言はこれまでで最も踏み込んだもので、「冗談を言っているのではない」という言葉でさらに強調されていた。

トランプ氏は「大勢が私にそうしてほしいと思っている」とも述べた。

2028 年大統領選に J・D・バンス副大統領が大統領候補、トランプ氏が副大統領候補として出馬し、当選後にバンス氏がトランプ氏にバトンを渡すというシナリオについて NBC に問われると、トランプ氏は「まあそれも一つの方法だ。だが、他にも方法がある」としたが、詳細は明かさなかった。

だが、合衆国憲法修正第 12 条は、「憲法の規定上大統領職に就く資格のない者は、副大統領職に就く資格もない」と規定しており、このシナリオを阻んでいるようだ。

共和党のアンディ・オグルス下院議員(テネシー州選出)は 1 月、トランプ氏に合わせ、連続しない任期を務めた大統領の 3 期目就任を認める憲法修正案を提出した。

憲法の改正に関する憲法制定会議が招集される可能性もあるが、これも同様に可能性は低いとみられている。

大統領の任期は 2 期までという憲法上の制限が撤廃されるのはどう考えても難しいが、賭けをする人々はトランプ氏の発言に注目している。

オフショアブックメーカー「BetOnline.ag」によると、2028 年大統領選でトランプ氏勝利のオッズは 10 倍から 6 倍となり、バンス副大統領に次ぐ 2 位となった。(c)AFP

【翻訳編集】AFPBB News



<https://www.msn.com/ja-jp/news/world/>

⑮トランプはプーチンとゼレンスキー両大統領を脅迫！(2025年3月31日)

ドナルド・トランプは不満を表明し、ロシアに対して「腹を立てている」と述べた。そして、プーチンがウクライナ停戦に同意しない限り、ロシアのすべての石油輸出に二次関税を課すとロシアに警告した。ドナルド・トランプはまた、米国は「グリーンランドを 100%奪取する」と述べ、ゼレンスキーに鉱物取引から撤退しないよう警告した。ゼレンスキーが夏の選挙に向けて準備を進めているとの報道もある。

<https://youtu.be/fVReImubfK4>

Trump warns Zelenskyy of "big problems" if Ukraine rejects mineral deal

IVAN DIAKONOV — MONDAY, 31 MARCH 2025, 03:14

f X ↗ © 65287



トランプ大統領は、ウクライナが鉱物資源取引を拒否すれば大きな問題になるとゼレンスキー大統領に警告した

<https://www.youtube.com/watch?v=fVReImubfK4>